



いざ、愛しの地へ。 冬のイタリア・ウンブリア州を旅する

イタリアに何度も通っている人も、「いつか行きたい」と願う人も、そろそろ旅先としてイタリアを具体的に思い浮かべているでしょう。
冬のイタリアを旅するなら、“緑のハート”、ウンブリア州はいかが？

©Umbria Region

絵のような美しさに包まれる 冬のウンブリアを旅する

半島の中心にあり、深い森を有することから“イタリアの緑の心臓”と呼ばれるウンブリア州。この絵のように美しい土地は、ローマとフィレンツェの間にあり、陸路での移動中にうっとり眺めたことがある人も多いだろう。特にクリスマスから年末年始は霧田気に浸れるお楽しみがたくさん。例えば、荘厳な大聖堂を擁するオルヴィエートの街では、年末恒例のフェス「ウンブリア・ジャズ・ウィンター」が開催され、街中がジャズやゴスペルなどの美しい音楽に包まれる。古都・グッビオには山の傾斜に世界最大のクリスマスツリーが出現し、あたたかなお祝いムード一色だ。また、バレンタインデーのルーツで、愛の聖人として知られる聖ヴァレンティノーは、ウンブリア州の都市・テルニの守護聖人。この時期に“愛の街”テルニや、サン・ヴァレンティノー教会を訪れるのは、この上なくロマンティック。ほかにも、特産のトリュフやオリーブオイルを使ったグルメ、カシミヤのショッピングなどもあり、充実の冬旅をお約束。



ウンブリア、そしてイタリアへ行くなら
公式サイト[英語版]へ

イタリア政府観光局公式サイトでは、ウンブリア州の情報をはじめ、イタリアの情報を美しい写真とともにご紹介。季節ごとのイベントやお知らせも日々アップデートされている。

©Umbria Region



写真上：遠目にも荘厳なオルヴィエート大聖堂。ウンブリア州には世界遺産アッジのサン・フランチェスコ聖堂も。中：ルネッサンス芸術家のピエトロ・ヴァンヌッチ、通称“ベルギーノ”は名の通り州都ベルギー出身。あちこちで作品を鑑賞でき、写真はモンテファルコ市立美術館（サン・フランチェスコ教会）にて。
下：中世の霧田気が漂うグッビオ。インジーノ山に現れる世界最大級のツリーを見るために観光客が集まる。



©Comune di Gubbio